

令和4年 第8回（12月）志免町議会定例会一般質問通告書

通 告 順

番号	質問者	質問時間	件 名	要 旨	具 体 的 質 問 内 容	質問の相手
1	小森 弘美	30分	1. 子どもを産み育てやすいまちに。	<p>(1) 産前産後のきれめない町の支援について。</p> <p>(2) 特別支援学級の現況とその支援について。</p>	<p>核家族化が進み、地域のつながりも希薄となる中で、孤立感や不安感を抱く妊婦さんや子育て家庭も少なくない。全ての妊婦さん・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境整備が大切だと考える。国は、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近に相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型の相談の支援を充実するための交付金を創設したが、町の取組みや、考えについて伺う。</p> <p>①妊産婦面談とその支援について</p> <p>i. 妊婦さん面談の状況は。 全員と面談できているか。</p> <p>ii. 妊産婦さんへの支援について、妊産婦さんに必要な情報をどのようなかたちでお知らせしているか。また、どのようなサポートがあるか。</p> <p>iii. 厚労省は伴走型の相談支援をするために、妊娠時に2回、出産時に1回、計3回の面談を推進しているが、町はどのように取り組むのか。</p> <p>②妊婦さんの体調の変化・孤立・産むことへの不安・経済的な不安等に対して、町としてのサポートは。国は、妊産婦さんへの経済的支援として妊娠時5万円産後5万円の支援を行うとしているが、町として経済的支援に相当する支援にどのようなアイデアがあるか。</p> <p>i. 流産・死産などでお子さんを失った方への対応は。</p> <p>ii. 低体重児で生まれたお子さんへのベビーブックの活用と保護者への対応は。</p> <p>③母子手帳の電子化について、母子手帳は紙ベースが良いと考える保護者の声もあるが、電子化が進む中で普及推進を考えざるを得なくなると考えるが町の見解は。</p> <p>④0歳～2歳までのお子さんを持つ保護者に対して、スマホなどで見ることができる情報を提供するアプリを使っている自治体もあるが、町として導入は考えるか。</p> <p>⑤乳幼児健診の中で、コミュニケーションの取り方を動作や発語を見て、健診されていると思うが、乳幼児とのコミュニケーションの取り方についての簡単なガイドブックはあるか。また、療育が必要な乳幼児やグレーゾーンにある乳幼児のための基礎的なコミュニケーションの理解についてのガイドブックはあるか。</p> <p>様々な障がいを持つ児童生徒に対して、適切な療育がとても重要だと考える。志免町における特別支援学級の現況と支援・取組みについて町の見解を伺う。</p> <p>①療育手帳を持っている児童生徒の割合と人数は。</p> <p>②グレーゾーンの児童生徒の判断基準は。</p> <p>③不登校の原因が障がいにある時、どのような指導や対応がなされているか。</p> <p>④教職員への「発達障がいについて」の研修や特別支援級の担任の先生の研修は行っているか。</p> <p>⑤支援の方法や「障がい」の理解のために、専門家の指導を受ける機会があるか。その際、支援学級からの教職員からの相談や子どもに対しての指導や改善は行っているか。</p> <p>⑥「障がい」があるといわれる子どもたち、とくに療育手帳を持っている子ども達には、医療・言語・聴覚士・理学療法士・作業療法士などの専門家チームが必要と考える。その教育を支援する発達教育センターが必要と考えるが、町の考えは。</p>	町 長 教 育 長

2	稲永 隆義	30分	<p>1. 一人一台端末導入の評価といじめ・不登校との関連について。</p> <p>2. 志免町のゼロカーボンシティ宣言の具体化は？</p> <p>3. 財政規律について。</p>	<p>(1) 新学習指導要領が掲げる「誰一人も取り残さない教育環境の整備」とのギャップが大きい。新学習指導要領の高い理想に向かうには教育委員会・各小中学校だけでは荷が重いと思う。全町あげてのバックアップが必要。</p> <p>(1) 6月に志免町ゼロカーボンシティ宣言をされたが、その後特に動きがない。宣言が拙速過ぎたのでは。</p> <p>(1) 令和2年度予算くらいから、5千万円、1億円以上の事業が増えたように思う。感覚的にも少しタガが外れかかっているのでは。</p>	<p>①一人一台端末を導入してほぼ2年、評価すべき点は。</p> <p>②まだまだ未達でこれからと思える点は。</p> <p>③いじめ、不登校問題で一人一台端末が活かされていないように思う。原因をどう考えるか。</p> <p>④一人一台端末を使って相談できるようなシステムはあるか。</p> <p>⑤いじめ・不登校の現状に対する町長の所見を伺う。</p> <p>⑥一人一台端末の中学3年生までの目標と、目標管理をどう考えるか。</p> <p>⑦いじめ・不登校の問題はどこの自治体でも解決策は見い出せず試行錯誤の状況。全町あげて知恵を絞る時。町長の所見を伺う。</p> <p>①3月定例会での答弁のように、志免町地球温暖化対策実行計画（区域施策偏）策定と同時に宣言しても良かったのではないか。6月に宣言されたのは何故か。</p> <p>②ゼロカーボンのための施策として、どのような施策を考えているか。</p> <p>①ふるさと納税が予想外に増えた時期と重なると思う。町長の所見を伺う。</p> <p>②お金の色は付いているか？</p> <p>コロナ関連で全額国費の施策が増えている。「国費やふるさと納税の寄付金でする事業やけん、町の腹は傷まん」との考えや、雰囲気を感じる時がある。元を辿れば全て我々の税金。このようなお金こそ慎重に使うべきと考える。町長の所見を伺う。</p>	町 長 教 育 長
3	岩下 多絵	30分	<p>1. だれもが生きやすい町を目指して。</p>	<p>(1) パートナシップ宣誓制度について。</p> <p>(2) 性的マイノリティの方々が安心して生活できる町に。</p>	<p>①令和4年4月1日から「福岡県パートナーシップ宣誓制度」が開始された。パートナーシップ宣誓制度とは。</p> <p>②現在、町民がこの制度を利用したい場合どうすればいいのか。</p> <p>③婚姻とは異なり法的な効果はないが、この制度により受けられることができるサービスは。</p> <p>④近隣自治体では、古賀市は2020年4月から粕屋町でも今年4月から導入された。同市、町は県との協定を結び、また、ファミリーシップ制度の導入等独自のサービスも提供している。わが町の導入への考えは。</p> <p>①12月4日から10日までがちょうど人権週間にあたる。互いの多様性を認め、人権を尊重し合える社会を目指すことが大事。</p> <p>i. 子どもの権利条例があるわが町として、小中学校での子どもたちへの指導は。</p> <p>ii. 教職員への研修等は。</p> <p>iii. 役場職員への研修等は。</p> <p>②「SOGI（ソジ）※性的指向と性自認」性の構成要素はさまざま。性的指向に気づき、違和感や悩みを抱え始める年齢は幼少期に多い。周りに寄り添ってくれる大人が必要。</p> <p>i. 保護者への周知は。</p> <p>ii. 相談できる窓口等は。</p> <p>③人口の3～10%と考えられる性的マイノリティの方々は、世の中の「当たり前」に苦しんで生活している。「パートナーシップ宣誓制度」は社会への周知の一つ。町から発信が大事。町長の総括を。</p>	町 長 教 育 長

4	末藤 省三	30分	1. 介護保険について。	(1) 介護保険の次期改定と費用負担の住民への影響について。	①介護サービスの負担割合2割、3割への改定について。 ②ケアプランの有料化について。 ③老健施設の多床室の有料化について。 ④要介護1・2の生活援助の保険給付を外すことについて。 ⑤福祉用具貸与制度から購入への変換について。	町 長
			2. マイナンバーカードについて。	(1) マイナンバーカード健康保険証一本化による問題点。	①マイナンバーカード健康保険証の一本化について。 ②収集した情報の用途はどのようになるのか(何に使われるのか)。 ③カード紛失、盗難時の対応について。 ④カードの取得は任意であるが。	町 長
5	牛房 良嗣	30分	1. 子ども出生数の減少と増加策について。	(1) 恐れず子どもへの投資を。世界で戦える人材の育成。	①早婚奨励(出会いの場づくり、婚活応援)。 ②出産費用 全額無料 祝金 1子目5万円、2子目10万円、3子目以降(15万円~20万円) ③2人以上の子育て世帯へ家賃の支援。 ④病後児保育、障がい児保育の早期整備。 ⑤保育料無料化。児童手当の引き上げ。 ⑥転入者相談窓口を役場内設置。出産、就労、保育園、子育て何でも相談。 ⑦地区別の学習支援。 ⑧中学部活指導員を地域内の人材から。	町 長
			2. 1人の子も置き去りにしない町を目指す。	(1) 前回一般質問での町長回答「1人の子も置き去りにしない。公民館活用の学習支援は有難い。支援のための活動割を検討したい。」現在の進捗状況についての報告を。	①「活動割」とは。具体的取組みの説明を。 ②ひとり親に対する支援は進められているのか。 ③小学1~2年生の英語活動の取組みはどう進められているのか。 不登校、長期欠席者等への児童生徒の第2の楽しい場所としての公民館学習支援を積極的に進めてください。	町 長
6	丸山 卓嗣	30分	1. 防犯について。	(1) 本町の現状と取組みについて。	近年は犯罪の形態も広域化・凶悪化しており、町民が安全で安心して生活できる環境を作るためには、町全体での防犯対策が必要だと考える。 ①本町における事件や犯罪等の発生状況、推移について。 ②町の防犯対策への取組みと課題について。	町 長
				(2) 防犯カメラの設置について。	安全・安心なまちづくりを進める上で、防犯カメラの設置は広く有用であり、犯罪の早期解決としてはもちろんのこと、犯罪抑止の効果も大いに期待できる。また、全国的に自治体での導入も進んできている。 ①緑道や街頭などへの設置について。 ②県のガイドライン運用、ルール作りについて。 ③設置費用について。 (ふるさと納税やクラウドファンディング等の活用) ④設置費用の補助制度について。	町 長
			2. 教育について。	(1) 教育改革について。	これまで、教育こそが町の基盤、財産との思いで様々な改革の必要性を訴えてきた。議員任期も残り僅かとなった今、改めて過去の一般質問から2つの大きなテーマを振り返り、町長の見解を伺いたい。 ①小中学校の一貫教育(令和元年12月)について。 ②学校開放化・複合化(令和3年3月)について。	町 長

